

地域文化財総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	兵庫県・三木市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	三木市文化遺産を活用した地域活性化プラン	【計画の改善時期】 平成 年度	
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>三木市観光基本計画（平成14年3月策定）及び兵庫県教育委員会が作成した歴史文化遺産活用ガイドライン（平成19年3月作成）に基づき、価値の発見→価値の共有→活用の計画→活用の実践へと進めていくため、以下の取組を実施する。また、計画期間中、以下の取組を通じて行政と民間団体、文化財保護団体による連携・協力体制の確立を目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 歴史文化ウォッチングの開催 2 歴史文化遺産を活用したワークショップの開催 3 歴史文化遺産を活用した講演会の開催 4 祭りの屋台・獅子舞等地域の文化遺産継承のために用いる用具の新調・修理事業 			
6 実施体制			
<p>三木市が、本実施計画に係る全体の企画・調整や、各補助事業に係る指導等を行う。主な担当課、役割は下記のとおり。</p> <p>教育委員会文化・スポーツ課：各補助事業における文化財の取扱等に関する指導・調整等 観光振興課：歴史文化遺産を活用した観光業務に関する企画・調整等</p> <p>また、補助事業は次の団体が実施する。 三木市文化遺産活性化実行委員会（会長：石田英之） 構成団体（三木市、全明石町屋台奉賛会、下町屋台保存会、高木子供屋台奉賛会、大手町屋台保存会、宿原屋台保存会、御坂神社太鼓保存会、興治獅子舞保存会、新町屋台管理運営委員会、加佐踊り保存会）</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成30年度交付決定額： 75,790 千円	平成31年度申請額： 4,156 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>市民の伝統文化に対する関心や意識が向上し、歴史文化を再認識することで、歴史文化の薫る町として発展的に活動して行く基礎づくりができ、次世代への確実な継承とともに、地域が一体となって文化財保護や地域の活性化が期待できる。</p> <p>また、行政と文化財保護団体、観光協会、大学等が連携し、様々な事業推進、情報発信を行うことで、観光客の増加に寄与することができる。</p> <p>特に、文化遺産関連施設の観光入込客数については、平成28年度当初見込み34,000人から平成33年度には44,000人への上昇を目指す。</p> <p>各地区の屋台保存会会員数については、全体で平成33年度には平成28年度比で10%の増加を目指す。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	なし		
11 「文化財保存活用地域計画」の作成・認定や「文化財保存活用大綱」の策定、「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
なし			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	三木市教育委員会教育総務部文化・スポーツ課文化遺産係（みき歴史資料館）		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分1:	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分1:	地域の文化遺産関係資料館、博物館等の年間入館者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標1:	金物資料館、旧玉置家住宅、旧小河家別邸等の 観光入込客数	関連事業:		①歴史文化ウォッチング事業		
目標値1:	【現状値】 平成 28 年度 35,453 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 44,000 人					
設定根拠1:	平成27年度の観光入込客数(19,366人)の23年度比の伸び率約1.24倍を参考にしつつ、伸び率1.3倍を設定した。28年度に開館したみき歴史資料館の入込客数(28年度15,372人)を加えた。					
進捗状況1:	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
34,210 人	30,226 人	人	人	人	人	
-15%	-61%					
目標区分2:	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分2:	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標2:	保存会の会員数	関連事業:		②伝統文化継承基盤整備		
目標値2:	【現状値】 平成 28 年度 1,098 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 1,207 人					
設定根拠2:	実行委員会を構成する各地区の祭り保存団体の住民意識を高めて、平成28年度比で10%の会員数の上昇を目指す					
進捗状況2:	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
1,114 人	1,369 人	人	人	人	人	
15%	249%					

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	歴史文化ウォッチング事業					実施団体：	(一社) 三木市観光協会				
事業区分：	普及啓発					事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 30 年度				
事業概要：	まち歩き（フィールドワーク）により、市内に存する地域固有の歴史文化遺産を再発見することにより、文化財に対する認識度が高まり次世代へ文化財を継承していく意識を醸成していく。										
評価指標区分：	・地域の文化遺産イベント等（本事業の取組を除く）におけるソーシャルキャピタル数（協賛企業・団体、賛同者等）					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	三木市観光協会の会員団体数の増加を目指す										
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 136 団体 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 142 団体										
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
136 団体	136 団体	団体	団体	団体	団体						
0%	0%										
事業②：	全明石町屋台用具整備事業					実施団体：	全明石町屋台奉賛会				
事業区分：	用具等整備					事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度				
事業概要：	「大宮八幡宮例大祭宮入宮出の屋台練り」（市指定無形民俗文化財）で披露する屋台用具の修繕等を行い、伝統行事を後世へと残していくこととする。										
評価指標区分：	・保存会への新規入会者数					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	全明石町屋台奉賛会を構成する明石町、宮前町、清水町、大日町、杣宮町の住民意識を高めて会員数の上昇を目指す										
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 74 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 84 人										
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
78 人	85 人	人	人	人	人						
40%	110%										
事業③：	全末廣屋台奉賛会後継者養成事業					実施団体：	全末廣屋台奉賛会				
事業区分：	後継者養成					事業期間：	平成 30 年度 ~ 平成 33 年度				
事業概要：	全末廣屋台奉賛会の会員を対象に、公民館を会場とした実技訓練（屋台の組立・鳴り太鼓の叩き方）等を開催する。										
評価指標区分：	・保存会への新規入会者数					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	全末廣屋台奉賛会を構成する末広町、神明町、大開町、新宿町の住民意識を高めて会員数の上昇を目指す										
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 100 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 140 人										
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
人	100 人	人	人	人	人						
	0%										

事業④：	全末廣屋台用具整備事業	実施団体：	全末廣屋台奉賛会		
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 30 年度 ~ 平成 33 年度		
事業概要：	「大宮八幡宮例大祭宮入宮出の屋台練り」（市指定無形民俗文化財）で披露する屋台用具の修繕等を行い、伝統行事を後世へと残していくこととする。				
評価指標区分：	・保存会への新規入会者数	（具体的な指標は次のとおり）			
具体的な指標：	全末廣屋台奉賛会を構成する末広町、神明町、大開町、新宿町の住民意識を高めて会員数の上昇を目指す				
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 100 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 140 人				
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
人	100 人	人	人	人	人
	0%				
事業⑤：	下町屋台保存会後継者養成事業	実施団体：	下町屋台保存会		
事業区分：	後継者養成	事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度		
事業概要：	下町屋台保存会の会員を対象に、公民館を会場とした実技訓練（屋台の組立・鳴り太鼓の叩き方）等を開催する。				
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）	（具体的な指標は次のとおり）			
具体的な指標：	下町屋台保存会を構成する前田町、下町、丸一町の人口社会減の現状から、基本的に現状維持を設定				
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 289 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 300 人				
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
296 人	296 人	人	人	人	人
64%	64%				
事業⑥：	下町屋台用具整備事業	実施団体：	下町屋台保存会		
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度		
事業概要：	「大宮八幡宮例大祭宮入宮出の屋台練り」（市指定無形民俗文化財）で披露する屋台用具の修繕等を行い、伝統行事を後世へと残していくこととする。				
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）	（具体的な指標は次のとおり）			
具体的な指標：	下町屋台保存会を構成する前田町、下町、丸一町の人口社会減の現状から、基本的に現状維持を設定				
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 289 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 300 人				
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
296 人	296 人	人	人	人	人
64%	64%				

事業⑦：	高木子供屋台用具整備事業	実施団体：	高木子供屋台奉賛会		
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度		
事業概要：	大宮八幡宮例大祭及び高木大歳神社栢祭りで披露する子供屋台用具の修繕等を行い、伝統行事を後世へと残していくこととする。				
評価指標区分：	・保存会への新規入会者数	(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：	高木子供屋台奉賛会を構成する高木地区の住民意識を高めて会員数の上昇を目指す				
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 59 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 80 人				
進捗状況：	各年度, 状況値, 目標に対する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
66 人	71 人	人	人	人	人
33%	57%				
事業⑧：	平田町屋台用具整備事業	実施団体：	平田町屋台保存会		
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 30 年度		
事業概要：	「大宮八幡宮例大祭宮入宮出の屋台練り」(市指定無形民俗文化財)で披露する屋台用具の修繕等を行い、伝統行事を後世へと残していくこととする。				
評価指標区分：	・保存会への新規入会者数	(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：	平田町屋台保存会を構成する平田地区の住民意識を高めて会員数の上昇を目指す				
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 242 人 ⇒ 【目標値】 平成 30 年度 260 人				
進捗状況：	各年度, 状況値, 目標に対する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
237 人	239 人	人	人	人	人
-28%	-17%				
事業⑨：	大手町屋台用具整備事業	実施団体：	大手町屋台保存会		
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度		
事業概要：	岩壺神社秋季例大祭で披露する屋台用具の修繕等を行い、伝統行事を後世へと残していくこととする。				
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数	(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：	大手町屋台保存会を構成する大手町の住民意識を高めて参加者数の上昇を目指す				
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 50 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 100 人				
進捗状況：	各年度, 状況値, 目標に対する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
95 人	80 人	人	人	人	人
90%	60%				

事業⑩：	久留美屋台用具整備事業					実施団体：	久留美屋台奉賛会				
事業区分：	用具等整備					事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 30 年度				
事業概要：	八雲社秋季例大祭で披露する屋台用具の修繕等を行い、伝統行事を後世へと残していくこととする。										
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）					（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標：	久留美屋台奉賛会を構成する久留美地区の人口社会減の状況から、現状維持を設定										
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 120 人 ⇒ 【目標値】 平成 30 年度 120 人										
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
120 人	120 人										
100%	100%										
事業⑪：	宿原屋台用具整備事業					実施団体：	宿原屋台保存会				
事業区分：	用具等整備					事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：	宿原若宮八幡宮の秋祭りで披露する屋台用具の修繕等を行い、伝統行事を後世へと残していくこととする。										
評価指標区分：	・保存会への新規入会者数					（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標：	宿原屋台保存会を構成する宿原地区の住民意識を高めて会員数の上昇を目指す										
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 50 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 70 人										
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
50 人	50 人										
0%	0%										
事業⑫：	御坂神社太鼓保存会屋台用具整備事業					実施団体：	御坂神社太鼓保存会				
事業区分：	用具等整備					事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：	御坂神社例大祭で披露する屋台用具の修繕等を行い、伝統行事を後世へと残していくこととする。										
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）					（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標：	御坂神社太鼓保存会を構成する御坂神社氏子地区の人口社会減の状況から、現状維持を設定										
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 36 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 37 人										
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
36 人	35 人										
0%	-100%										

事業⑬：	東這田屋台用具整備事業	実施団体：	東這田奉賛会（旧美坂社奉賛会）			
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 30 年度			
事業概要：	美坂社春祭りで披露する屋台用具の修繕等を行い、伝統行事を後世へと残していくこととする。					
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）			（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	東這田奉賛会を構成する東這田地区の人口社会減の状況から、現状維持を設定					
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 80 人 ⇒ 【目標値】 平成 30 年度 80 人					
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
80 人	90 人	人	人	人	人	
100%	#DIV/0!					
事業⑭：	興治屋台・獅子舞用具整備事業	実施団体：	興治獅子舞保存会			
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	興治秋祭りで披露する獅子と屋台用具等の修繕等を行い、伝統行事を後世へと残していくこととする。					
評価指標区分：	・保存会への新規入会者数			（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	興治獅子舞保存会を構成する興治地区の住民意識を高めて会員数の上昇を目指す					
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 246 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 265 人					
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	265 人	人	人	人	人	
	100%					
事業⑮：	明石町青年団屋台用具整備事業	実施団体：	明石町青年団			
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 29 年度			
事業概要：	「大宮八幡宮例大祭宮入宮出の屋台練り」（市指定無形民俗文化財）で披露する明石町の法被を新調することにより、会員対象者の意識を高めて、伝統行事を後世へと残していくこととする。					
評価指標区分：	・保存会への新規入会者数			（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	明石町青年団を構成する明石町、宮前町、清水町、大日町、杣宮町の高校生から29歳までの会員対象者の意識を高めて会員数の上昇を目指す					
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 31 人 ⇒ 【目標値】 平成 29 年度 35 人					
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
32 人	人	人	人	人	人	
25%						

事業⑯：	石野町祭り保存会屋台用具整備事業	実施団体：	石野町祭り保存会			
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 29 年度			
事業概要：	石野御酒神社の春祭りで披露する屋台用具の修繕を行い、伝統行事を後世へと残していくこととする。					
評価指標区分：	・保存会への新規入会者数			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	石野町祭り保存会を構成する石野地区の住民意識を高めて会員数の上昇を目指す					
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 103 人 ⇒ 【目標値】 平成 29 年度 125 人					
進捗状況：	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
103 人	人	人	人	人	人	
0%						
事業⑰：	新町屋台用具整備事業	実施団体：	新町屋台管理運営委員会			
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 31 年度 ~ 平成 33 年度			
事業概要：	「大宮八幡宮例大祭宮入宮出の屋台練り」(市指定無形民俗文化財)で披露する屋台用具の修繕等を行い、伝統行事を後世へと残していくこととする。					
評価指標区分：	・保存会会員数の変化(維持)			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	新町屋台管理運営委員会を構成する新町、大宮町の人口社会減の状況から、現状維持を設定					
目標値：	【現状値】 平成 30 年度 31 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 31 人					
進捗状況：	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
事業⑱：	加佐踊り保存会用具整備事業	実施団体：	加佐踊り保存会用具整備事業			
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 31 年度 ~ 平成 33 年度			
事業概要：	加佐踊りで披露する浴衣の新調を行い、会員対象者の意識を高めて、伝統行事を後世へと残していくこととする。					
評価指標区分：	・保存会会員数の変化(維持)			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	加佐踊り保存会を構成する加佐東・加佐西の人口社会減の状況から、現状維持を設定					
目標値：	【現状値】 平成 30 年度 36 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 37 人					
進捗状況：	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	